

# Words for expressing degree and quantity

## 1. degree expressions with adjectives(almost all adjectives except だいじょうぶ/だいすき)

### 1a objective description

とても	very	とてもとおいです	とてもしずかです
あまり+negative	not very	あまりとおくないです	あまりしずかじゃありません
ぜんぜん+negative	not at all	ぜんぜんとおくないです	ぜんぜんしずかじゃありません

### 1b subjective appreciation

すこし/ちょっと+positive		すこし/ちょっとさむいです	すこし/ちょっとふべんです
-------------------	--	---------------	---------------

This expression usually denotes somewhat X and that situation is unfavourable. Only adjectives implying negative appreciation can be used in positive forms.

「きょうとはすこしさむかったです」 "Kyoto was a little bit cold, then unsuitable for tourism."

「このスープはちょっとしょっぱいです」 "This is soup is a little bit salty and not delicious"

## 2. with verbs

### 2a referring to frequency (with almost all verbs)

とてもよく	とてもよくテニスをします
よく	じぶんでよくごはんをつくります
だいたい (positive/negative)	だいたいタブレットをつかいます。PCをつかいません。
あまり+negative	あめのひにあまりでかけません。
ぜんぜん+negative	なつエアコンをぜんぜんつけません

### 2b referring to quantity or the total amount of action

examples of verbs あそびます/あらいます/うたいます/おくります/おしえます/およぎます・・・)

とてもたくさん	カラオケでうたをととてもたくさんうたいました
たくさん	いつもはあさごはんをたべませんが、きょうはたくさんたべました
ちょっと/すこし	まいにち、かんじをちょっと/すこしべんきょうします
あまり+negative	ウィークデーはあまりねません。5じかんくらいです。
ぜんぜん+negative	わたしのちゅうがくせいのかどもは、ほんをぜんぜんよみません。

### 2c referring to degree, most of the verbs included are adjective-like verbs.

examples of verbs いそぎます/おなかがすきます/かかります(in case of time)/がんばります/つかれます/のどがかわきます

とても	とてものどがかわきました
ちょっと/すこし	10じのひこうきにのります。ちょっといそぎましょう。
あまり+negative	しんじゅくまであまりじかんがかかりません
ぜんぜん+negative	しゅうまつ (weekend) のでんしゃはぜんぜんつかれません。ひとがすくないからです。

### 2d referring to the result of action or the changed state(much narrower than English "well")

examples of verbs あらいます/がんばります/できます/はたらきます/わかります/べんきょうします

とてもよく	このコースのみなさんはとてもよくべんきょうします。
よく	てをよくあらいましょう。
あまり/あまりよく+negative	わたしは、えいごがあまり/(あまりよく) わかりません。
ぜんぜん+negative	にほんのえいがをみましたが、ぜんぜんわかりませんでした。

## Note

1) The classification of verbs is provisional and sometimes some of the verbs do not co-occur with all the adverbial expressions in the section included.

2) 「だいたい」 (similar to "almost") presupposes the total amount is recognizable. Then its use is determined not only by the verbs themselves but also by the context involved. For example, 「たくさんあるきます」 makes sense by itself, while 「だいたいあるきます」 can be interpreted only as a frequency expression. However, if you say 「だいたい1kmあるきました」, then 「だいたい」 can be interpreted as a expression of quantity. 「わかります」 is an exceptional verb in that there is less context restriction so that it can often co-occur with 「だいたい」. cf. 「かんじはむずかしいですが、カタカナはだいたいわかります」